

主題：命の木

メッセージ 4

創世記第2章の二本の木はローマ人への手紙第8章の二つの法則となる

聖書：創 2:9, 16-17. ローマ 5:12. ヨハネ 14:19. ローマ 8:2

I. わたしたちは創世記第2章の二本の木の内在的な意義を見ようとするなら、神の永遠の意図とサタンの計略を見なければなりません：

A. 神の永遠の意図は、わたしたちの中へと入り、わたしたちの命となることです——エペソ 1:4-5. ヨハネ 10:10 後半. 14:19：

1. 神の願いとは、神がご自身にしたがって創造した人が、人の命に加えて神聖な命を持つことでした——ヨハネ 10:10 後半。
2. 神が欲しているのは、ご自身をわたしたちと一にし、わたしたちを彼と一にして、わたしたちが彼を生きることです。すなわち、彼はわたしたちの命となり、わたしたちは彼の生活となるということです——ヨハネ 14:19：
 - a. わたしたちがキリストの中に住むことができ、彼にわたしたちの中に住んでいただくことができるという事実が示しているのは、わたしたちと彼が一であるということです。これが神の永遠の意図です——ヨハネ 15:4-5。
 - b. 神の永遠の意図は、キリストが生きるゆえにわたしたちが生きることです。わたしたちは彼の生活の中で生き、彼はわたしたちの生活の中で生きます——ヨハネ 14:19. ガラテヤ 2:20。

B. サタンの計略は、彼自身を人の中へと注入することでした——創 3:1-7. ローマ 5:12：

1. サタンがご自身を人の中へと注入した時、サタンは人の中で罪と死になりました——ローマ 5:12. 7:8-9, 11, 17. マタイ 16:23. エペソ 2:2。
2. サタンの命、性質、実質は人の性質の中へと注入されました。これがサタンの計略でした——創 3:1-7。
3. 悪魔の子供たちと呼ばれることは、サタンから生まれることを意味します。彼の命と性質は彼の子供たちの中にあります——I ヨハネ 3:10. ヨハネ 8:44。

II. 命の木は神と彼の永遠の意図を表徴します。善悪知識の木はサタンと彼の計略を表徴します——創 2:9, 16-17：

A. 神の目に、これら二本の木に関する極めて重要な事柄は、人が正しい木、すなわち、命の木を食べるということでした——創 2:16-17。

B. 神の意図は、神がご自身にしたがって創造した人が命の木にあずかるということでした——創 1:26; 2:9：

1. 命の木が表徴するのは、三一の神がキリストの中で人の命として食物の形で具体化されているということです——ヨハネ 1:1, 4. 6:48, 51。
2. 神が命の木の前に人を置いたことが示しているのは、神が人に有機的に彼を食べ、新陳代謝的に彼を同化することによって、ご自身を人の命として受け入れてほしかったということです。それは神が人の存在の構成要素となるためです——創 2:9。
3. 神の意図は、ご自身を命の木として人の中へと植え込み、人が神と共に成長して、神を表現するという事です——創 1:26; 2:9。
4. 神が願っているのは、人が命の木にあずかり、神の命を受け、神に結合され、こうして神が人を得て、ご自身の計画を成就し、サタンを滅ぼすということです——創 1:26-27。

C. 善悪知識の木が表徴するのは、人にとっての死の源であるサタンです——創 2:16-17. へ

ブル 2:14 :

1. サタンの計略とは、自分自身を罪と死として人の中へと植え込み、こうして人に浸透させ、人と共に成長させることでした——創世記 3:1-7。
2. サタンが人を誘惑する上での目的は、人を扇動して善悪知識の木と接触させ、その木の命、すなわち、サタンの命が人の中へと入ることでした——ローマ 5:12. ヨハネ 8:44。
3. サタンは人が善悪知識の木にあずかって、サタンの命を受け、彼との違法の結合の中へと入ることです。それによってサタンは人を強奪し、自分の邪悪な意図を成就し、神のご計画を妨げることができます。

Ⅲ. 創世記第2章9節の二本の木は、ローマ第8章2節の二つの法則となりました :

- A. ローマ第8章2節の「法則」という言葉の意味は、戒めではなく、確証された原則です。これらの法則は自然に働きます。
- B. 法則とは、自然に働くものです。
- C. 命があるところに、その命の法則もあります。命とその命の法則を分けることはできません。
- D. あらゆる種類の命は、法則によって支配されるだけではありません。あらゆる命が一つの法則なのです。
- E. 神聖な命は最も強い命であり、神聖な命の法則は最も強い法則です。わたしたちの中で働いている法則は、全宇宙で最も強い法則です。
- F. あらゆる木は一つの法則であり、その法則はその木から生じます——創 2:9. ローマ 8:2 :
 1. わたしたちの内側では二本の木が成長しているので、わたしたちの内側では二つの法則が働いています :
 - a. 命の木はわたしたちの中へと植えられた時、わたしたちの中で働く一つの法則、すなわち命の霊の法則となりました。
 - b. 善悪知識の木もまた、わたしたちの内側で一つの法則、すなわち罪と死の法則となりました。
 2. これら二本の木はそれぞれの法則（罪と死の法則と、命の霊の法則）を伴って、今やわたしたちの内側で働いています。
- G. 最初の誕生によって、わたしたちは罪と死の法則を持っています。第二の誕生によって、わたしたちは命の霊の法則を持っています——詩 51:5. ヨハネ 3:3, 5-6, 15。
- H. 手順を得た神は今やその霊であり、わたしたちの霊の中に住んで、命の霊の法則となっています——7:39. ガラテヤ 3:2, 5, 14. ローマ 8:2。
- I. 神は命の霊の法則を通して、罪と死の法則からわたしたちを解放します——ローマ 8:2。

Ⅳ. わたしたちは命の木によって生きることによって、自然に命の霊の法則によって生きます——創2:9. ローマ8:2 :

- A. クリスマン生活における重要な原則は、自分の意志の力によって生きるのでなく、命の霊の法則によって生きることです——ローマ 7:15-16; 8:2。
- B. わたしたちのクリスマン生活は、もはや自分の意志によって支配されるべきではなく、わたしたちの内側で働いている命の霊の法則の自然な力によって支配されるべきです。